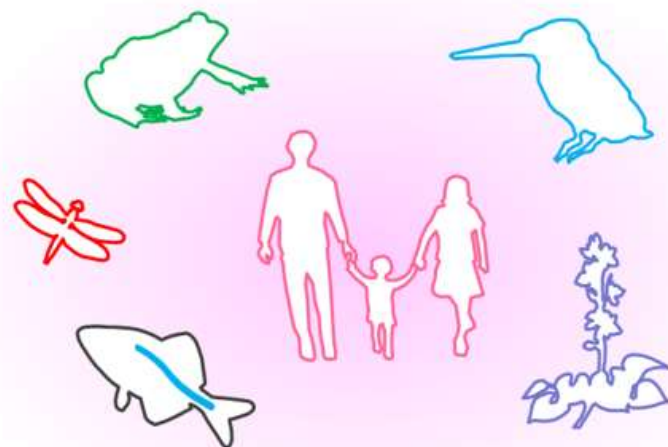


倉敷市生物多様性地域戦略

-倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを未来へつなぐために-



実施事業計画表

実施事業計画(平成29年度実績・平成30年度～平成33年度)

-概要-

倉敷市環境政策課

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

数値目標達成状況

倉敷市生物多様性地域戦略では、以下の4つの基本目標を掲げています。

- 基本目標1: 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。
- 基本目標2: 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。
- 基本目標3: 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。
- 基本目標4: 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて行動できる人づくり、地域づくりを行う。

本資料は、これら目標達成に向けた、「進捗状況」及び「実施事業の実施状況と予定」を示します。

最初に示す(右表)「数値目標達成状況表」は、基本目標達成に向けた各数値目標の達成状況を示しています。

2ページ以降の「事業実施計画表」には、基本目標達成に向けた2020年までの短期的な取り組みについて、基本目標ごとに事業の実施状況を示しています。

グレーの網掛けが「リーディングプロジェクト」、網掛けなしが「その他の取り組み」であり、事業ごとに示しています。

なお、リーディングプロジェクトとは、戦略の基本目標の実現に向けて戦略全体をリーディングする誘導的なプロジェクト事業のことです。

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。								
番号	項目	基準値	基準年度	H29年度実績	傾向	目標値	達成年度	担当部署
1	自然環境基礎調査	1地区 (真備町妹)	2013 (H25)	0地区	↘	継続実施	—	環境政策課
基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。								
1	自然環境に配慮したまちづくりができていると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	27.4%	2009 (H21)	33.2%	↗	54%	2020年 (H32)	環境政策課
2	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	38.4%	2011 (H23)	39.7%	↗	72%	2020年 (H32)	環境政策課
3	多様な生き物が生息している自然環境が身近にあると感じている人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	32.5%	2009 (H21)	31.2%	↘	56%	2020年 (H32)	環境政策課
4	都市公園の目標水準	7.79㎡/1人	2005 (H17)	8.15㎡/1人	↗	10㎡/1人	—	公園緑地課
5	特定外来生物の防除	306頭: ヌートリア	2012 (H24)	269頭: ヌートリア	↘	被害額の低減及び 生息頭数の減少	—	環境政策課 農林水産課
6	自然環境に配慮した工法により整備された、河川やため池、護岸等の工事件数(H23年度からの積み上げ件数)	5件	2011 (H23)	31件	↗	100件	2020年 (H32)	環境政策課
7	温室効果ガス排出量の抑制(市内全域)	3,957万トン	2007 (H19)	3,397万トン (H26)	↗	3,482万トン	2020年 (H32)	地球温暖化 対策室
8	市内で下水道を利用できる人の割合	71%	2010 (H22)	78.9%	↗	79.7%	2020年 (H32)	下水計画課
9	合流式下水道を改善した面積の割合	22%	2010 (H22)	100%	↗	100%	2015年 (H27)	下水計画課
基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。								
1	地域の自然保護・環境保全に配慮した取り組みを行っている企業の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	41.7%	2010 (H22)	24.8%	↘	60%	2020年 (H32)	環境政策課
2	「環境保全型農業直接支援対策」取組面積	2,172a	2012 (H24)	3,820a	↗	3,000a	2015年 (H27)	農林水産課
3	市民農園区画数	771区画	2012 (H24)	707区画	↘	現状維持	—	農林水産課
4	新規就農者数	8人	2012 (H24)	17人	↗	10人	2015年 (H27)	農林水産課
5	有機JAS認定農業者数(団体)	8団体	2012 (H24)	8団体	↗	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
6	おかやま有機無農薬農産物生産農業者数(団体)	6団体	2012 (H24)	6団体	↗	10団体	2015年 (H27)	農林水産課
基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。								
1	自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合(倉敷市第六次総合計画指標)	87.6%	2009 (H21)	85.3%	↘	95%	2020年 (H32)	環境政策課
2	親子・家族で日常的に自然にふれあえる場があると思う人の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	58.4%	2009 (H21)	55.6%	↘	77%	2020年 (H32)	環境政策課
3	身近な自然を守る活動を行っている人の割合(倉敷市第二次環境基本計画指標)	10.9%	2009 (H21)	9.5%	↘	20%	2020年 (H32)	環境政策課
4	自然がかけがえの無い大切なものだと感じている子供の割合(倉敷市第六次総合計画指標)	71.7%	2009 (H21)	76.9%	↗	95%	2020年 (H32)	環境政策課
5	自然にふれる活動に参加している子どもの数(倉敷市第六次総合計画指標)	14,537人	2009 (H21)	13,171人	↘	19,700人	2020年 (H32)	環境政策課

※ 表中の項目のうち、H29年度集計が行われていないものについては、確認可能な最新の実績としている。

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(3)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標1:生物多様性調査の実施

【基本方針】

豊かで多様な自然環境を有する本市の生態系とその基盤となる生物に関する自然史資料等情報について、倉敷市立自然史博物館を核に、市民、市民団体、生産者、事業者、教育・研究機関と協働を図りつつ積極的に調査・収集します。

◆実施事業一覧表【基本目標1-1 生物多様性調査の実施】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
生物多様性調査の実施	調査体制の構築	リーディングプロジェクト	市内における自然調査を継続的に実施できる体制を構築する	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施した	自然観察会や出前講座等の野外活動の機会を利用して調査を実施する	継続実施	→	自然史博物館	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	自然調査を継続的に実施できる体制を検討する	継続実施	→	環境政策課	-	-	-		
	自然環境調査の実施		地域の自然環境に詳しい専門家(ローカルナチュラリスト)と連携した自然調査を実施する	館外の研究者に必要なに応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施した	館外の研究者に必要なに応じて情報を開示し、収蔵資料の研究や共同研究を実施する	継続実施	→	自然史博物館	-	-	-	
				事業化に向けた検討を行った	専門家の活動状況の把握に努める	継続実施	→	環境政策課	-	-	-	
	中学校・高等学校と連携した自然調査を実施する		中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努めた	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			教育委員会	-	-	-	
			事業化に向けた検討を行った	中学校・高等学校における自然観察等の実態の把握に努める	事業化検討			環境政策課	-	-	-	
	市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する		富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施した	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する(サービスはH30年度終了予定)	事業終了予定			環境政策課	-	-	-	
			携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した生き物調査に対し、種の同定等、必要に応じて支援を行った	携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用した生き物調査に対し、種の同定等、必要に応じて支援を行う	事業終了予定			自然史博物館	-	-	-	
	本市の自然環境の特徴である水辺空間について自然環境基礎調査を実施する		高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査の支援を行った(H26年度事業終了)					環境政策課	-	-	-	
			高砂町中島柳井原線新架橋設置に伴う河川環境調査を実施(H26年度終了)					街路課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(4)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考	
生物多様性調査の実施	市内の山系の自然環境調査	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、動植物を中心とした資料収集、データ整理などにより生息状況調査を行い、自然環境を把握する	継続	玉島柏島などで、独自調査及び調査協力を行った	独自調査及び調査協力を行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況の把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎ、動植物を中心とした生息状況調査を行う	継続実施	→		環境政策課	0	0	0		
	貴重な山林の把握	良好な自然環境を有する山林の調査と資料の収集	継続	鶴形山など、良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する山林(社寺林)等の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0		
	市内の里山調査	身近な自然である里山の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	向山など、良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する里山の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である里山の実態把握を行う	継続実施	→		環境政策課	0	0	0		
	市内の公園調査	身近な自然である公園の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	倉敷みらい公園で、「生きもの調査」を自然観察会として年4回実施し、資料収集にも努めた	身近な緑地である公園などの自然調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である都市公園などの実態把握を行う	継続実施	→		環境政策課	0	0	0		
	市内の海岸調査	身近な自然である砂浜、干潟、磯などの自然海岸の実態把握に努め、保全に向けた施策の検討に繋げる	継続	児島付近など、良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行った	良好な自然環境を有する海岸の調査、資料収集・保管を随時行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0		
			継続	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握に努めた	自然史博物館、自然保護団体等の協力を仰ぎながら、身近な自然である海岸の実態把握を行う	継続実施	→		環境政策課	0	0	0		
	「倉敷川の清流化を目指す」事業	市民企画提案事業「倉敷川の清流化を目指す大学協働推進事業」の一環で、倉敷川の生き物・水質調査を実施する	終了	H26年度事業終了						市民活動推進課企画経営室	-	-	-	
	生物多様性戦略に向けた自然環境調査	生物多様性地域戦略策定のための基礎資料として市内の自然環境保全基礎調査を実施する	終了	真備妹地区の自然環境基礎調査を実施した(H25年度終了)	他地区における自然環境基礎調査の事業化を検討する					環境政策課	-	-	-	
	「倉敷の生き物を探そう!」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	継続	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(51件の投稿があった)	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する(サービスはH30年度終了予定)	事業終了予定				環境政策課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(5)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

◆分野別目標2: 生物多様性に係る情報の整備・充実

【基本方針】

本市における自然環境に関する情報について倉敷市立自然史博物館を核に、関係機関との連携を図りつつ分析、評価及び将来への継承に努め、関係者及び市民に広く提供することにより生物多様性の保全、回復、再生に役立てます。

◆実施事業一覧表【基本目標1-2 生物多様性に係る情報の整備・充実】

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考	
生物多様性に 係る情報の 整備・充実	地域活動を通じた生物多様性の保全	地域で実践している生物多様性に関する活動をより発展的に進めるため、事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを構築する	リーディング プロジェクト	事業化に向けた検討を行った	生物多様性保全事業の提案や助言、自然調査等の支援ができる仕組みづくりを検討する	継続実施	→	→	環境政策課 市民活動推進課 各担当課	-	-	-		
	関係部署における情報共有	本市が実施している自然体験フィールドやイベント、環境学習活動、環境学習施設の紹介、野生動物や自然環境に関する情報を提供する ⇒関係部署で、野生動物や自然環境に関する情報等の生物多様性に関する情報が共有されていないため、収集した情報を整理し、提供して、市民活動の推進につなげる		5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行った	5月22日の国連生物多様性の日、自然と親しむ月間等において、関係部署の関連情報を取りまとめ、情報提供を行う	継続実施	→	→	環境政策課 市民活動推進課 環境学習センター 農林水産課 観光課 指導課 教育センター 生涯学習課 少年自然の家 自然史博物館 市民学習センター 科学センター	-	-	-	少年自然の家は、H32年度、H33年度に閉所して建替えの予定。	
		「倉敷市生物多様性地域戦略」に係る情報提供を推進する		生物多様性地域戦略概要版を配布し、情報提供を行った	生物多様性地域戦略概要版を配布し、情報提供を行う	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	-	-	-		
		自然史博物館の施設整備	常設展示資料の補完的更新を行い、収蔵庫の拡張に努める	継続	動くナウマンゾウ親子のメンテナンスや検索用パソコンのデータ更新、展示品の追加などを行った	展示物等の補修メンテナンスを行う	継続実施	→	→	自然史博物館	126	125	126	予算・実績は展示事業の設備保守点検委託料
		特別展(特別陳列)の開催	岡山県内を中心として自然史全般について常設展示で盛り込めていないテーマについて、収蔵資料や外部団体の協力を生かした展示を行う	継続	「ティラノが成羽にやってきた！化石は太古の生き物図鑑」(会場：高梁市成羽美術館)、「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」「草地功地学標本コレクション展」「鳴く虫サロン」「新着資料展2017」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催した	「岡山の野鳥たち～むかしいま・みらい～」新着資料展 富山哲夫チョウ類コレクション「鳴く虫サロン」「折り紙昆虫展」「新着資料展2018(総合)」「新着資料展2018(昆虫)」「しぜんしくらしき賞作品展」を開催する	継続実施	→	→	自然史博物館	3,977	3,946	2,363	予算・実績は展示事業+特別展事業
		自然環境基礎調査及び資料の収集、保管	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、収集資料を交換し市民に資料提供を行う	継続	西日本自然史系博物館ネットワーク加盟館園や岡山県博物館協議会加盟館園などと交流を行い、市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行った	他の自然史博物館、研究機関と交流を行い、また市域内外にわたる自然環境について、機会あるごとに調査を進め、標本資料や文献資料の収集保管を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	1,418	1,417	1,659	予算・実績は標本・文献等収集事業
		自然環境指標生物についての基礎的研究	自然環境指標となる生物について基礎的研究を行う	継続	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進め、成果を研究報告や博物館講座などで公表した	倉敷市生物目録の補完調査ならびに動植物の分布調査、分類学的、生物地理学的研究を進める	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(6)

基本目標1 倉敷の生態系の状況と生き物と暮らしとのつながりを把握する。

施策内容	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
生物多様性に 係る情報の 整備・充 実	市域外での調査研究	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、倉敷市域外での調査研究を行う	継続	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内の市域外(真庭市・鏡野町・井原市・岡山市など)の自然についても調査や資料収集を行った 県外においては三重県・奈良県で資料収集を行った	市内の生物相の特徴を浮き彫りにするため、岡山県内全域の自然についても調査や資料収集を行う 県外においては愛媛県で資料収集を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	1,345	1,339	896	予算・実績は調査研究事業
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月30日(日) 37人参加 ・高梁川河川敷	・水辺教室は豪雨災害の影響で中止(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月28日(土) ・高梁川河川敷	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	81	75	106	
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月2日(日) 28人参加 ・児島通生海岸	・海辺教室は豪雨災害の影響で中止(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月22日(日) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	59	82	
	井戸、湧水に関する 情報収集と情報提供	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め、HPで情報提供を行う	継続	認定済みの井戸・湧き水について、HPで情報提供を行った	HPで情報提供を行う 新規に認定すべき井戸・湧水について情報提供を受け、調査を行う	継続実施	→	→	環境政策課	—	—	—	
	巨樹・老樹等の保護	自然保護監視員や市民からの情報提供を求め調査し顕彰する	継続	自然保護監視員や市民からの情報をもとに、巨樹・老樹等の案内板を更新した	情報の収集と提供を行い、新たな樹木を認定する 巨樹・老樹の老朽化した案内板を更新する	継続実施	→	→	環境政策課	44	40	65	
	自然海岸、海浜、干 潟の調査	自然保護団体の協力で海岸線、海浜、干潟の現状を把握する	継続	自然史博物館友の会の行事「干潟の生物の観察会」(倉敷市)、「ウミホタル観察会」(倉敷市)、「再訪・北木島の自然」(笠岡市)に協力しつつその現地の調査を行った 別途、独自調査及び調査協力を行った	自然史博物館友の会の行事「干潟の生き物しらべ」(倉敷市)、「再訪・鴻島の自然」(備前市)に協力しつつその現地の調査を行う 別途、独自調査及び調査協力を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	—	—	—	
			継続	市内の藻場の状況・変遷について、情報収集を行った	市内の藻場の状況・変遷について、情報収集を行う	継続実施	→	→	環境政策課	0	0	0	
自然保護監視員制度 の活用	自然保護監視員から身近な地域における自然環境の話題、情報を収集する	継続	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行った	連絡会議や定期的な報告書により、市内自然環境の状況、外来生物侵入の状況について情報収集を行う	継続実施	→	→	環境政策課	256	206	256		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(7)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標1:総合的・計画的な保全体系の拡充

【基本方針】

生物多様性の保全は長期的な取り組みが必要な新しい地域課題であることから、地域の多様な生態系・生物種が現状程度に保持されるとともに、希少種、貴重な生態系の保全、回復、再生施策を推進するため、総合的・計画的な保全体系の拡充を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標2-1 総合的・計画的な保全体系の拡充】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
総合的・計画的な 保全体系の拡充	市 全 域	生物多様性の保全体系の拡充	総合的・計画的な保全体系を拡充する	リーディング プロジェクト	事業化に向けた検討を行った	総合的・計画的な保全体系の拡充について検討する	継続実施	→	環境政策課	-	-	-	
		生態系の現状を踏まえた土地利用の推進、および開発における環境配慮の拡充等による、自然生態系、人と自然のふれあいに係る生態系、市街地の都市公園・緑地等の生態系を保全する	国が進める環境保全型農業直接支援対策等の普及を進めた		国が進める環境保全型農業直接支援対策等の普及を進める	継続実施	→	環境政策課 農林水産課	-	-	-		
		環境影響評価制度の活用を図る	法、条例に係る事業については、環境保護及び環境保全措置を積極的に要望した		法、条例に係る事業については、環境保護及び環境保全措置を積極的に要望する	継続実施	→	環境政策課	-	-	-		

◆分野別目標2:地域の自然と生態系ネットワークの保全

【基本方針】

水と緑のつながりを確保し、地域の生態系ネットワークを保全、回復、再生するため、防災や利用との調和を図りながら、住宅地等民有地や工場、事業所、遊休地等の緑化を図り、生き物の生息・生育空間及び移動経路に配慮した空間の形成を目指します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-2 地域の自然と生態系ネットワークの保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
地域の自然と生態系ネットワークの保全	森・山	循環的活用の推進	豊かな生態系を循環的に活用するため、上流域も含め、市民活動団体との協働により森林保全の実施を支援・推進する	リーディング プロジェクト	高梁川流域における市民活動団体の活動について、広報等を通じて支援した	高梁川流域における市民活動団体の活動について、広報等を通じて支援する	継続実施	→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	市街地	屋上緑化、壁面緑化の推進	マンションや戸建住宅、工場等にある緑地において、特定外来生物等の他の植生に悪影響をもたらす植物の除去や、植栽等の景観も含めた保全が行えるよう方針を作成する		屋上緑化、壁面緑化の方針について先行事例等情報収集を行った	屋上緑化、壁面緑化の方針について先行事例等情報収集を行う	継続実施	→	環境政策課 公園緑地課 開発指導課 市街地開発課 住宅課	-	-	-	
		公園・緑地整備計画の推進及び支援	生物多様性に配慮した公園・緑地整備計画の支援を推進し、民間開発事業に伴う緑化の支援及び指導を行う		法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導する	継続実施	→	公園緑地課 各担当課	-	-	-	
	市 全 域	自然に配慮した景観保全	豊かな自然と良好な景観を保全するため、条例に従い、規制・指導を行う		法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導した	法・条例に基づき、緑の保全が図られるよう規制・指導する	継続実施	→	公園緑地課	-	-	-	
各種団体との連携推進		生物多様性の保全について、NPO法人や地域団体等の各種団体と調整を図るとともに、地域連携保全活動計画策定の検討を図る	本市固有の豊かな自然を生かした都市景観の形成が図られるよう指導した	本市固有の豊かな自然を生かした都市景観の形成が図られるよう指導する	継続実施	→	都市景観室	-	-	-			
				各団体の実態把握及び地域連携保全活動計画の導入可能性について検討した	各団体の実態把握及び地域連携保全活動計画の導入可能性について調査する	継続実施	→	環境政策課 環境衛生課 市民活動推進課	-	-	-		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(8)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
市全域	市以外の公共事業における環境保全措置	国や岡山県などが、本市において実施する公共事業に対して、必要な協力を行いつつ、重要地域での事業実施回避も含め、当該地域での生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求める	リーディングプロジェクト	必要に応じ、事業による生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求めた	必要に応じ、事業による生物多様性への影響を最小限に抑えることを求め、また、必要に応じ、十分な代償措置を求めた	継続実施			環境政策課 各担当課	-	-	-	
	ビオトープの設置促進	小学校、公共施設等へのビオトープの設置を手助けする	継続	継続実施					環境政策課	0	0	0	
森・山	「倉敷美しい森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,363	2,363	2,363	
	「真備美しい森」管理事業	地元へ管理委託	継続	維持管理					真備・産業課	5,041	6,473	5,182	
	「ふれあいの森」管理事業	地元へ管理委託	継続	地元へ管理委託して施設を保全した。	地元へ管理委託して施設を保全する	継続実施			児島・産業課	2,699	2,699	2,699	
	種松山野草園管理	野草園の管理	継続	移植植物の維持管理を行った	移植植物の維持管理を行う	継続実施			環境政策課	424	424	484	
	「愛宕山森林公園」管理事業	愛宕神社を中心に広がる緑豊かな森林公園の草刈りやトイレ清掃などを管理委託により保全する	継続	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全した	公園内の草刈、トイレ清掃等を管理委託により保全する	継続実施			船穂・産業係	5,225	4,573	3,347	
	「ツツジ山再生プロジェクト」事業	市民企画提案事業「ツツジ山再生プロジェクト」により、旧帯江銅山(中庄)にツツジを植え、かつて栄えたツツジ山を復活させる	継続	ツツジの苗木の育成及び植栽	H29年度事業終了				市民活動推進課	270	270	0	協働団体「ツツジ山再生プロジェクト」
	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施	自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理を行う	継続	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させた	希少種の生息状況など自然環境保全に係る情報を収集し、事業部署に情報を提供、手助けすることにより、生物に配慮した施工、維持管理に反映させる	継続実施			環境政策課	-	-	-	
河川・水辺			継続	東三間川用水路改修工事(その1) 西部排水路改修工事	東三間川用水路改修工事 L=80.0m, W=3.8m	継続実施 事業休止(H30)			水島支所・産業	5,350 8,000	4,698 8,392	6,000 -	
			終了	水島6号水路改修工事 L=73.18m(平成26年度事業終了)					水島支所・産業	-	-	-	
			継続	鶴新田17号水路改修工事	鶴新田17号水路改修工事 L=29.0m	継続実施			水島支所・産業	4,000	3,521	4,000	
			継続	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	西部排水路藻刈業務委託 福田用水路清掃業務委託	継続実施 継続実施			水島支所・産業	5,000 1,200	2,830 712	5,000 1,200	
			継続	帯江162号水路改修工事 ほか4件	帯江256号水路改修工事 ほか6件	水路改修工事10 件程度	水路改修工事 10件程度	水路改修工事 10件程度	耕地水路課	57,000	42,701	47,000	
	溜川公園水辺ゾーン及び現況ヨシ原維持管理	地域団体・NPOの協力のもと、水辺ゾーン及び現況ヨシ原の維持管理及び保全を行う	継続	維持管理					玉島・建設課	489	489	489	随時見直しあり
	阿津遊水池環境保全事業	遊水池の環境整備(測量、設計委託、整備)	継続	遊水池整備	維持管理				児島・産業課	0	0	0	
自然保護団体の湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続	自然保護団体の活動に対して技術情報提供などにより支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続実施			環境政策課	-	-	-		

地域の自然と生態系ネットワークの保全

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(9)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考	
地域の自然と生態系ネットワークの保全	平里野地部	「由加のビオトープづくり」事業	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課	—	—	—	協働団体「由加の自然を育む会」	
	市街地	街区公園の整備	街区公園の整備	継続	用地取得 整備工事	用地取得 整備工事	継続実施	→	公園緑地課	201,500 209,132	201,550 127,837	34,405 51,476		
		「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」事業	市民企画提案事業「茶屋町の干拓史跡・真如庵庭園の自然観察公園への改修とその活用」の一環で、真如庵にビオトープの整備を実施する	終了	H26年度事業終了					市民活動推進課 環境政策課	—	—	—	協働団体「茶屋町エコライフ・グループ」
		本庁壁泉池維持管理	ビオトープとして整備した壁泉池の維持管理を行う	継続	維持管理	維持管理	維持管理	→	総務課	0	0	0		
	市全域	造林事業	森林資源の培養と自然環境の保全を図るため、苗木相当額を補助し植林を推進する	継続	要望がなかったため未実施	要望に応じ、苗木相当額を補助し、植林を実施する	継続実施	→	農林水産課	66	0	77		
松くい虫予防事業		松くい虫被害対策のため、薬剤散布による予防と被害木の伐採駆除	継続	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行った	松くい虫予防事業、松くい虫被害木伐倒事業を行う	継続実施	→	農林水産課	12,477	9,558	13,220			

◆分野別目標3: 地域ごとの自然環境の保全

【基本方針】

それぞれの地域の自然特性を活かしながら保全していくことが重要なため、地域住民の協力のもと、地域の特性に応じた取り組みを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-3 地域ごとの自然環境の保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
地域ごとの自然環境の保全	森・山	倉敷地域の取り組み	酒津八幡山周辺を、山と河が一体となった緑豊かな景観と、多様な生態系が残る自然の宝庫として保全する	継続	市民団体との協働により、保全及び利活用について調査・検討を進めた	市民団体との協働により、保全及び利活用について調査・検討を進める	継続実施	→	環境政策課 各担当課	—	—	—	
		水島地域の取り組み	大平山、種松山、鴨ヶ辻山などの山系の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	開発指導を通じ、自然環境を保全するとともに、市が設置した探鳥コース、野草園など自然とふれあえる場の活用を図った	開発指導を通じ、自然環境を保全するとともに、市が設置した探鳥コース、野草園など自然とふれあえる場の活用を図る	継続実施	→	環境政策課 各担当課	424	424	484	
		児島地域の取り組み	由加山系の貴重な動植物を保護するとともに、山系全体を保全する	継続	市民団体等との協働により、保全及び自然とふれあえる場の活用を図った	市民団体等との協働により、保全及び自然とふれあえる場の活用を図る	継続実施	→	環境政策課 少年自然の家	0	0	0	
	河川・水辺	水島地域の取り組み	八間川を、市民が憩える水辺空間として整備を推進する	継続	花苗5000株を年3回植栽した	花苗5000株を年3回植栽する	継続実施	→	公園緑地課	250	250	250	
		玉島地域の取り組み	溜川遊水池周辺の自然生態環境を保全・活用するとともに、市民が自然とふれあえる公園として溜川公園を維持管理する	継続	自然生態環境に配慮し維持管理を行った	自然生態環境に配慮し維持管理を行う	継続実施	→	玉島・建設課 公園緑地課	489	489	489	
		船穂・真備地域の取り組み	川辺ふるさとビオトープや真備水辺の楽校、希少生物の理解や水生生物とのふれあいの場として活用を図る	継続	身近な自然とふれあえる場として維持管理を進めた	身近な自然とふれあえる場として維持管理を進める	継続実施	→	環境政策課 各担当課	—	—	—	
			清流に恵まれた高梁川、小田川とその周辺の自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	国、県の整備事業等において、自然環境の保全を働きかけるとともに、水辺教室等を通じて自然とふれあえる場としての活用を図った	国、県の整備事業等において、自然環境の保全を働きかけるとともに、水辺教室等を通じて自然とふれあえる場としての活用を図る	継続実施	→	環境政策課 各担当課	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(10)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

地域	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
地域の自然環境の保全	海辺・海岸	児島地域の取り組み	唐琴地区や、下津井地区の砂浜、干潟、磯などの自然海岸を保全し、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかけるとともに、海辺教室等を通じて、市民への保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全、藻場の回復を図るため、国、県へ積極的に働きかけるとともに、海辺教室等を通じて、市民への保全意識の啓発を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
			鷺羽山展望台周辺整備基本計画及び名勝下津井鷺羽山保存管理計画に基づき、鷺羽山の良好な自然景観を維持保全するとともに、整備活用する。	継続	・樹木の伐採	樹木の伐採を行う	継続実施	→	→	観光課	990	990	1,900	
		玉島地域の取り組み	高梁川河口の干潟や、玉島黒崎地区の砂浜、干潟、磯などの自然海岸の保全を図るため国、県へ積極的に働きかける	継続	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全を図るため国、県への積極的な働きかけ及び市民団体の支援等を通じて、市民への保全意識の啓発を図った	砂浜、干潟、磯など自然海岸の保全を図るため国、県への積極的な働きかけ及び市民団体の支援等を通じて、市民への保全意識の啓発を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	
	市街地	倉敷地域の取り組み	鶴形山、向山、足高山など市街地の中の身近な自然環境を保全し、自然とふれあえる場として活用を図る	継続	公園、道路等適切に維持管理することにより自然環境を保全し、探鳥コース等を利用して自然とふれあえる場としての活用を図った	公園、道路等適切に維持管理することにより自然環境を保全し、探鳥コース等を利用して自然とふれあえる場としての活用を図る	継続実施	→	→	環境政策課 各担当課	-	-	-	

◆分野別目標4: 重要地区の保全

【基本方針】

生態系ネットワークの構成上重要であり、豊かな生き物の生息地、生育地となっている地域について積極的に保全します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-4 重要地区の保全】

地域	ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
重要地区の保全	海辺・海岸	アマモ場の保全・再生事業	アマモ場保全・再生事業を推進する	リーディングプロジェクト	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援した	市民団体等の取り組みを情報提供、広報等により支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	平野地部	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する		環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	継続実施	→	→	農林水産課 環境政策課	2,930	0	3,000	
	ため池	ため池保全計画の策定	ため池の生物多様性保全機能に着目し、国が進める農地・水・環境保全向上対策事業の利用、推進を図る		ストックマネージメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進した	ストックマネージメント事業等の推進にあわせ、必要に応じ環境保全向上対策を推進する	継続実施	→	→	環境政策課 担当事業課	-	-	-	
	湿地	湿地復元、保護活動への支援	湿地復元や保護を行う自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する		必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援した	必要に応じ自然保護団体の活動への市民参加、協働についての広報の実施、技術情報提供などにより支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(11)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
重要地区の保全	市全域	良好な自然環境が残る区域を保全する「地区指定」の実施	継続	候補になるような地域の指定場所の検討を行った	候補になるような地域の指定場所の検討を行なう	継続実施	→		環境政策課	-	-	-	
		自然公園区域、県自然環境保全地域等の区域の拡大や、新たな指定への協力	継続	指定に適した地区の調査・検討を行った	指定に適した地区の調査・検討を行う	継続実施	→		環境政策課	-	-	-	

◆分野別目標5: 希少野生生物の生息・生育環境の保全

【基本方針】

天然記念物や種の保存法該当種、国や県のレッドデータブック対象種について、保護の重要性に関する普及啓発を進めるとともに生息地の保全・再生を含む保護活動を推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-5 希少野生生物の生息・生育環境の保全】

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
河川・水辺	希少動植物の生息情報整備	希少野生動植物の生息情報マップを整備し、生態系に配慮した管理を推進する	リーディングプロジェクト	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行った	希少野生動植物の生息情報マップの構築に向け随時調査を行う	継続実施	→		環境政策課 耕地水路課	-	-	-	
	希少動植物の保全	各課連携により淡水魚・希少動物の積極的保全に取り組む		希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	継続実施	→		環境政策課	-	-	-	
海辺・海岸	海浜や干潟における希少生物の保全	海浜利用者に配慮し、保全が必要な海浜植物について囲いを設置するなどの保全を行う		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する	継続実施	→		環境政策課	-	-	-	
市全域	希少野生動植物の保全	早急な対策が求められる希少な動植物種について優先的に保護対策を講じ、種の絶滅を回避する		必要に応じ保護対策を実施した	必要に応じ保護対策を実施する	継続実施	→		環境政策課 各担当課	-	-	-	
森・山	シラガブドウの保護	愛宕山森林公園内および堆肥化施設敷地内に、シラガブドウの保護地を設け、保護及び啓発を行う	継続	保護育成(ふなおワイナリーの経費により管理を行った)	保護育成(ふなおワイナリーの経費により管理を行う)	継続実施	→		船穂・産業係	0	0	0	
河川・水辺	ミズアオイ群生地整備事業	ミズアオイの良好な生育環境を創造するため、自生地の整備を行う	継続	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行った	冬季に耕耘等により自生地の環境整備を行う	継続実施	→		土木課	365	357	358	
	ミズアオイ群生地の保全活動	自然保護団体、地域住民等と協力し、ミズアオイ群生地の良好な生育環境の保全に努める	継続	ヌートリア害防護フェンスの設置など、ミズアオイ自生地の整備・管理に協力した。市民に対して観察会等の啓発活動を行った(春:種まき会 秋:観察会)	ミズアオイ自生地の整備・管理に協力する 市民に対して観察会等の啓発活動を行う	継続実施	→		環境政策課	73	25	73	
	希少野生生物に配慮した公共工事の実施要請	スイゲンゼニタナゴ・カワバタモロコやダルマガエルなど希少野生生物が生息・生育する場所での水路改修・街路事業などの公共工事では、専門家等との協議や地域住民の理解を求め、希少野生生物の生息・生育環境への影響が最も少ない方法を検討し、調整を図る	継続	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請した(調査・協議・対策13回実施)	希少野生生物の生息の可能性のある地域の公共工事を把握し、必要に応じて環境省や専門家と協力して、配慮工事を要請する	継続実施	→		環境政策課	107	102	606	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(12)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

ハビタット	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
希少野生生物の生息・生育環境の保全 河川・水辺	希少野生生物に配慮した公共工事の実施	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	継続	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	スイゲンゼニタナゴなどの希少野生生物(淡水魚)の生息・生育区域においては、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施			担当工事業課	0	0	0	
			継続	東三間川用水路改修工事(その1) 西部排水路改修工事	東三間川用水路改修工事 L=80.0m, W=3.8m	継続実施 継続実施			水島支所・産業	5,350 8,000	4,698 8,392	6,000 -	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			終了	水島6号水路改修工事 L=73.18m(平成26年度事業終了)					水島支所・産業	-	-	-	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			継続	鶴新田17号水路改修工事	鶴新田17号水路改修工事 L=29.0m	継続実施			水島支所・産業	4,000	3,521	4,000	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
			継続	帯江162号水路改修工事ほか4件	帯江256号水路改修工事ほか6件	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	水路改修工事10件程度	耕地水路課	57,000	42,701	47,000	【再掲】基本目標2-2 自然環境に配慮した用水路・ため池・河川などの改修及び管理の実施
	継続	ダルマガエル・カスミサンショウウオなどの希少野生生物(両生類等)の生息・生育環境に配慮した公共工事の実施に努める	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努めた	希少野生生物(両生類等)の存在が確認された場合は、生息・生育環境に配慮した事業の実施に努める	適宜実施			担当工事業課	-	-	-		
	スイゲンゼニタナゴ個体群の保全	自然保護団体、地域住民と協力し、スイゲンゼニタナゴの保護活動を推進する	継続	工事実施等に伴い、保全に関する協議・保護移動を実施した(11件)	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚に関する出前講座を実施する。工事実施に伴う保全に関する協議・保護移動を実施する	継続実施			環境政策課 環境学習センター	33	0	0	※ 淡水魚講座に関する予算等は【4-3】参照
川辺ふるさとピオトップ管理	ダルマガエル公園を含む親水公園の維持管理(委託)	継続	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なった	希少生物の生息する地域内で、都市公園内の池周辺清掃等維持管理を引き続き「真備川辺地区公園愛護会」へ委託し、環境保全を行なう	継続管理			真備・建設課	251	251	251		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(13)

基本目標2 身近な自然とそのつながり及び希少野生生物の生息・生育環境を保全、回復、再生する。

◆分野別目標6: 外来生物対策

【基本方針】

国内外における輸送などに伴い、意図的、非意図的を問わず人為的に導入された外来生物による地域の生態系への影響を最小限とするため、国、県、周辺自治体、市民、事業者及びNPO団体など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及に努めるとともに、必要に応じ関係法令に基づく防除を検討します。

◆実施事業一覧表【基本目標2-6 外来生物対策】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
外来種等の生態系に悪影響を与える生物への対応	アライグマなどの特定外来生物について防除計画を作成し駆除等の対策を実施する	リーディングプロジェクト	先行自治体の情報収集を進め、防除計画の策定を検討した	先行自治体の情報収集を進め、防除計画の策定を検討する	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-	
	ペットや野生動物とのつきあい方等の市民啓発の実施をする		出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行った	出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行う	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	ヌートリアやカワウなどについて、苦情や捕獲などの情報をもとに獣害分布図を作成し、関係部署との情報の共有を図る		出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行った	チラシや出前講座等の機会を利用し、啓発活動を行う	継続実施	→	→	生活衛生課	-	-	-	
	関係機関の情報共有を進め、分布の把握に努めた		関係機関の情報共有を進め、分布の把握に努める	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課 環境衛生課	-	-	-		
外来生物に関する啓発と情報提供	外来生物の移入などによる生態系への影響を最小限とするため、環境省など関係機関と連携し、外来生物に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う	継続	出前講座、観察会、博物館講座などで機会あるごとに問題の普及啓発に努めた(講座回数25回、出前講座25回)	新たに発見された外来生物について記者クラブへの発表及び学術雑誌での報告を行う 出前講座、観察会、博物館講座などで機会あるごとに問題の普及啓発に努める	継続実施	→	→	自然史博物館	0	0	0	
		継続	施設見学受入・出前講座等の機会を利用し、外来生物に関する啓発活動を行った	施設見学受入・出前講座等の機会を利用し、外来生物に関する啓発活動を行う。必要に応じ駆除対策の計画、実施を行う	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター	8,600	8,444	7,874	
		継続	市民からの問い合わせに対し、関係機関と連携して対応した。市内に生息するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除啓発を広報くらしきなどで行った	市民からの問い合わせに対し、関係機関と連携して対応する 市内に生息するスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の防除啓発を広報くらしきなどで行う	継続実施	→	→	自然史博物館 環境政策課 農林水産課	-	-	-	
外来生物への対策の計画策定と防除の実施	必要に応じ、防除計画の策定、防除実施を進める	継続	これまで収集した情報及び調査結果を踏まえ、防除対策について検討した	これまで収集した情報及び調査結果を踏まえ、必要に応じ防除対策の計画、実施を行う	継続実施	→	→	環境政策課 農林水産課	-	-	-	鳥獣被害防止計画など

外来生物対策

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(14)

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標1:環境配慮型農業と地産池消の推進

【基本方針】

おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援、推進するとともに担い手の育成など農業の持続的な発展と地域の活性化を図ります。

◆実施事業一覧表【基本目標3-1 環境配慮型農業と地産池消の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
環境配慮型農業と地産池消の推進	生物多様性に配慮した農業の推進	冬水田んぼ、休耕田の利活用による田んぼづくりを推進する	リーディングプロジェクト	要望がなかったため未実施	耕作放棄地解消推進事業等を活用した支援により、耕作放棄地の再生・利用を推進する	継続実施	→	→	農林水産課	0	0	0	
		農地を活用した環境学習を推進する		環境保全型農業直接支援対策等を通じ環境配慮型農業を推進することにより、農業者が実施する環境学習を支援した	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	-	-	-	
		夏休み講座として、「田んぼの生きもの調べ」を実施 ・8月20日(日)実施 30人参加		夏休み講座として、「田んぼの生きもの調べ」を実施 ・8月19日(日)実施	継続実施	→	→	環境学習センター	-	-	-		
		生物多様性と安全に配慮した農林水産物のPR、地産池消及び旬産旬消の推進をする		地場農産物や特産物の消費拡大を図る各種イベントや啓発講座の開催、PR活動などを行った	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	1,794	1,318	1,262	
		生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る		パンフレットの配布等を通じ環境保全型農業の普及促進を図った	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	-	-	-	
				出前講座等を通じて生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図った	出前講座等を通じて生物多様性(環境)保全型農業のPR、農業者や消費者の理解の促進を図る	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	環境保全型農業の支援	おかやま有機JASなどの有機農業や冬期湛水管理など生き物を育む環境保全効果の高い営農活動を支援する	継続	環境保全型農業直接支援対策により環境保全効果の高い営農活動を支援した	継続して実施する	継続実施	→	→	農林水産課	4,000	3,056	4,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(15)

基本目標3 生物多様性の恩恵を持続的に受けられるように自然資源を利用する。

◆分野別目標2: 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進

【基本方針】

開発行為を行う場合、生態系とその基盤となる生物に関する情報を事前に把握し、配慮した予防的、順応的な対策などの取り組みを進めます。

事業活動における環境負荷の低い原材料の使用や生態系認証商品や材料の活用、供給などサプライチェーン全体の中で持続可能な生産と消費に配慮した経営を促していきます。

◆実施事業一覧表【基本目標3-2 生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
生物多様性に配慮した地域開発と産業、事業活動の促進	生物多様性に配慮した事業の実施	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	リーディングプロジェクト	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行った(3件)	生物多様性に配慮した開発事業の実施のための指導を行う	継続実施	→	→	環境政策課 開発指導課	-	-	-	
		まとまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する		該当事業がなかったため未実施	まとまりのある緑地等を開発事業や都市づくりに取り入れ、生き物の生育・生息環境に貢献する	継続実施	→	→	市街地開発課	-	-	-	
		自然環境や生態系に配慮した技術開発・施工方法による生物多様性保全への取り組みを推進する		工事個所の自然環境や生態系に配慮した対応を検討した	工事個所の自然環境や生態系に配慮し、必要に応じ対応する	継続実施	→	→	土木課 街路課	-	-	-	
		産業界に係る職員や企業を対象とした研修を行い、企業活動や商品、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する		出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進した	出前講座等を通じて、サービスが生態系に依存していることを意識し、環境に配慮した活動を推進する	継続実施	→	→	各担当課 環境政策課	-	-	-	
		生物多様性に欠かせない水と命の係わりについて意識し、下水道の整備等により、生態系の回復を図る		下水道の整備及び普及促進	下水普及率を向上させ、水質の向上を図る	継続実施	→	→	下水建設課 下水施設課	0	0	0	
	くらしき地域資源の活用	地域資源を、老舗、特産品、魅どころとして取りまとめ、情報発信をする	くらしき地域資源を取りまとめ、ホームページやBOOK等を通じて情報提供を行った	継続実施	→	→	商工課	10,042	9,423	7,430			
	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくり	市民参画による生物多様性に配慮した公園づくりを推進する	市民の意見をとりいれた公園づくりを推進した	継続実施	→	→	公園緑地課	0	0	0			
	小田川付替え事業との連携	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進する	高梁川小田川付替え事業及び関連する事業について事業の進捗にあわせ必要に応じ国、県と連携を図り、生物多様性の保全を推進した	継続実施	→	→	環境政策課 土木課 自然史博物館 文化財保護課 各担当課	-	-	-			
	八間川緑道公園整備	地元住民、関係機関等との協議の検討	終了	八間川東側に緑地を整備	事業終了				水島・建設	-	-	-	
	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続	土石採取の掌握・指導	土石採取の掌握・指導	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続	土砂等による土地の埋め立て許可	土砂等による土地の埋め立て許可	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
	宅地造成許可	宅地造成に係る許可	継続	宅地造成に係る許可	宅地造成に係る許可	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続	開発行為等の規制及び指導	開発行為等の規制及び指導	継続実施	→	→	開発指導課	-	-	-	
開発行為等の事前協議	事業内容により自然環境調査を行い自然の回復に努めるよう指導	継続	希少野生生物等への影響が考えられる2件について保全対策を指導した	開発行為等の規制及び指導	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-		
保健保安林管理事業	三百山・大向山保健保安林管理委託	継続	業者に管理委託して施設を保全した	業者に管理委託して施設を保全する	継続実施	→	→	児島・産業課	3,206	3,206	3,249		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(16)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標1: 市民への環境学習機会の提供

【基本方針】

自然環境保全に対する市民の意識を高めるため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、講演会、講座、自然体験型イベントを実施します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-1 市民への環境学習機会の提供】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
生物多様性体験 学習拠点の設置	自然史博物館、環境学習センター を中心に、教育施設と連携した自然 基礎情報の収集や、研修ニーズの 調査を行う		倉敷みらい公園において生き物 調査を実施した(11回)	倉敷みらい公園において生き 物調査を実施する	継続実施	→		自然史博物館 環境学習センター	0	0	0	みらい公園バード ウォッチング
保全に向けた普 及啓発活動	シンポジウムや講演会、パネル掲 示等による生物多様性保全に向け た普及啓発活動をする	リーディング プロジェクト	くらしき環境フェスティバルにお いて生物多様性の保全につな がる地域の食に関する講演会を 実施した	くらしき環境フェスティバルにお いて生物多様性の保全につな がるエシカルファッションに関 する講演会を実施した	継続実施	→		環境政策課 環境学習センター	500	500	500	環境フェスティバル (4-6 環境保全に関す る事業の情報提供) のプログラムとして実 施
関連施設等との連 帯	文部科学省及び県教育事務所関連 施設の事業に参加	終了	自然観察会を岡山県生涯学習 センターとの連携講座として行っ た(博物館主催16回、友の会主 催10回)(H28年度で事業終了)					自然史博物館	-	-	-	
	環境省及び県環境関連部門の事業 に参加	継続	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、担当物品 の利用に便宜を図った(0件)	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、担当物 品の利用に便宜を図る	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0	
		継続	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、担当物品 の利用促進を図った	総合環境学習ゾーンモデル事 業(環境省)へ参加し、担当物 品の利用促進を図る	継続実施	→		環境学習センター	0	0	0	
「11月3日は自然 史博物館まつり」の 開催	博物館友の会の協力を得て、全館で さまざまなイベントを開催する 終日入館無料	継続	第17回「11月3日は自然史博物 館まつり」を開催した(来場総数 8,395人)	第18回「11月3日は自然史博物 館まつり」を開催する	継続実施	→		自然史博物館	507	506	473	予算・実績は自然史 博物館まつり事業
環境学習センター での環境学習・講 座等の充実を図る	環境学習センターでの環境学習・講 座等の充実を図る	継続	環境学習・講座等の充実を図っ た	環境学習・講座等の充実を図る	継続実施	→		環境学習センター	8,600	8,444	7,874	
緑化ポスターコン クールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続	緑化ポスターコンクールの実施	緑化ポスターコンクールの実施	継続実施	→		公園緑地課	140	140	140	
自然史全般の質 問・問合せなどへ の対応	自然史全般についての質問などに、 学芸員が個別に回答する	継続	対面・メール等で対応した(レ ファレンス総数964件)	対面・メール等で対応する	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0	
自然保護小冊子の 発刊等	自然の紹介や自然保護に関する小冊 子などの発行、市民事業への協力	継続	研究報告第33号を発行した	研究報告第34号、特別展図録 を発行する	継続実施	→		自然史博物館	617	572	1,614	
	自然の紹介や自然保護に関する小冊 子などを活用した啓発を図る	継続	自然保護団体等と協力して、淡 水魚に関する出前講座を実施 する。(H29:申し込みなし)	淡水魚を中心とした水環境に関 する小・中学生対象の出前講 座を実施する	継続実施	→		環境学習センター	33	0	0	
くらしき都市緑化 フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続	都市緑化フェアの開催	都市緑化フェアの開催	継続実施	→		公園緑地課	1,650	1,650	1,650	
少年自然の家 受入事業	小、中学校の山の学習などの受入れ とともに、生涯学習施設としての位置 づけにより幅広い年代の研修団体の 受け入れを実施する	継続	自然の中で仲間と遊び、自然と 親しみながら仲間と暮らすこと によって、人間形成を図った(テ ント設営、野外炊事等)	自然の中で仲間と一緒に共同 生活することによって自主性 や協調性を養うとともに、自然 の大切さや雄大さを体感するこ とによって環境保護の意識醸成 を図る	継続実施	→		少年自然の家	57,239	55,730	66,101	

市民への環境学習機会の提供

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(17)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
市民への環境学習機会の提供	自然環境保全に関する研修会、講演会	有識者を講師に研修会、講演会、サイエンス・カフェなど開催する	継続	水島学講座を開催した(1回)	環境学習講座を開催する	継続実施	→		環境学習センター	-	-	-	
			継続	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の保全につながる地域の食に関する講演会を実施した	くらしき環境フェスティバルにおいて生物多様性の保全につながるエンカルフアッションに関する講演会を実施した	継続実施	→		環境政策課	500	500	500	【再掲】同シートに掲載
	自然保護監視員研修会・連絡会議	知識習得のための研修会を行う 自然保護に関する情報や意見を受けるための連絡会を開催する	継続	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催した(2回)	自然保護に関する情報や意見を受けるための研修会や連絡会を開催する	継続実施	→		環境政策課	256	206	256	【再掲】基本目標1-2「自然保護監視員制度の活用」
	自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト	市民企画提案事業「自転車を活用した「くらしき百景」観光プロジェクト」の一環で、倉敷を訪れる観光客に環境に配慮した観光スタイルを学習する機会を提供する	終了	H25年度事業終了					市民活動推進課	-	-	-	
	「倉敷まちかど博物館」事業	平成25年度コミュニティ助成事業により、岩石・鉱物・化石・植物・昆虫・動物などの標本を、移動可能な展示ユニット計60台に仕立てて、公共性の高い施設に貸し出しする	継続	12施設に41台のユニットを新たに貸し出した	図書館・公民館・学校園など、公共性の高い施設、市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出しを行う	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0	

◆分野別目標2: 支援者、指導者の育成

【基本方針】

市内の自然環境情報を幅広く収集するとともに市民に数多くの環境学習機会を提供するため、関係部署が連携するとともに、NPO等との協働を積極的に進め、専門的な知識を持つ指導者や市民団体の育成と支援に努めます。

◆実施事業一覧表【基本目標4-2 支援者、指導者の育成】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
支援者、指導者の育成	生物多様性に関する環境学習システムの推進	保育士や教諭等を対象とした研修を行い、子どもたちが地球に優しい取り組みを実践することにつながる	リーディングプロジェクト	研修の方法・内容等の検討について教員研修を所管する教育センターに依頼	研修の方法、時期、対象等を検討中	研修の実施	→		教委・指導課	0	0	0	
	指導者養成講座の開催	高梁川流域における生物多様性保全をテーマとする環境教育研修を行う	継続	環境学習人材育成研修の実施(H29は実施せず)	人材育成研修を実施する	継続実施	→		環境学習センター	300	0	300	
	自然環境保全マニュアル研修会	市新規採用土木職員などを対象に研修会を実施	継続	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行った	本研修を未受講の土木職員を対象に研修会を実施する 自然環境保全マニュアルに準拠した工事の事例調査を行う	継続実施	→		環境政策課	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(18)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標3:子どもたちへの環境教育の充実

【基本方針】

自然や生きものに対する子どもたちの関心と環境保全意識を高めるため、学校や地域における自然体験活動への参加の機会を増やします。

◆実施事業一覧表【基本目標4-3 子どもたちへの環境教育の充実】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
子どもたちへの環境教育の充実	生物多様性に関する環境学習システムの検討	子どもたちや先生に生物多様性の活動を意識し、実践してもらう仕組みづくりを行う	リーディングプロジェクト	パンフレットの授業への活用について検討した	環境政策課作成のパンフレットを授業に活用するよう呼びかける	継続実施	→	指導課	-	-	-	
				生物多様性地域戦略に関する子供向けパンフレットを配布した	啓発推進及びその方法の検討を行う	継続実施	→	環境政策課	0	0	0	一般向けパンフ、地域戦略冊子含む
	ビオトープの設置および推進	学校・保育所等にビオトープの設置を推進及び支援する		必要に応じ設置および管理に関する支援を行った	必要に応じ設置および管理に関する支援を行う	継続実施	→	環境政策課 教育施設課	0	0	0	
	自然とふれあうイベント等の開催	子どもたちや親子で参加する自然体験イベントや、自然とふれあう活動を支援する		自然体験型の講座を43件実施 704人が参加した	子どもたちや親子で参加する自然体験講座・イベントや、自然とふれあう活動を支援する	継続実施	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施
				障がい児などを対象としたキャンプを少年自然の家で3回実施する	障がい児などを対象にしたキャンプを、少年自然の家で開催する	継続実施	→	障がい福祉課	287	138	287	
				子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援した	子育てポータルサイト等を通じ、子どもたちや親子で参加する自然体験活動を支援する	継続実施	→	子育て支援課	-	-	-	
	環境学習の充実	出前講座の開催	継続	出前講座を開催した(25件)	出前講座を開催する	継続実施	→	自然史博物館	-	-	-	
			継続	出前講座を開催した(13回)	出前講座を開催する	継続実施	→	環境学習センター	-	-	-	環境学習推進事業として実施
			継続	自然保護団体等と協力して、淡水魚に関する出前講座を実施(H29:申し込みなし)	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行う 淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施	→	環境学習センター	33	0	0	
		公民館、図書館講座及び学校、保育園などの施設へ講師の派遣を行う	継続	講師派遣に協力した(出前講座以外の講師派遣22件)	講師派遣に協力する	継続実施	→	自然史博物館	-	-	-	
		継続	講師派遣に協力する(派遣実績なし)	講師派遣に協力する	継続実施	→	環境学習センター	-	-	-		
	環境学習講座の開催	継続	夏休み期間を中心に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施した(43件:704人)	夏休み期間に重点的に小学生親子で参加できる自然体験型の学習講座を実施する	継続実施	→	環境学習センター	-	-	-		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(19)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
子どもたちへの環境教育の充実	環境教育の推進	環境教育全体計画、指導計画の作成	継続	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組んだ	全小・中学校で、環境教育全体計画、指導計画に基づき、教科や総合的な学習の時間を中心に環境教育に取り組む	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月30日(日) 37人参加 ・高梁川河川敷	水辺教室は豪雨災害の影響で中止(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月28日(土) ・高梁川河川敷	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	81	75	106	【再掲】1-2水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) 7月2日(日) 28人参加 ・児島通生海岸	・海辺教室は豪雨災害の影響で中止(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月22日(日) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	59	82	【再掲】1-2 海辺教室
	自然教室(中学校)	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各中学校の第1学年の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	山の学習(小学校)	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然についての知識を得る	継続	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触れ、自然について知ることをねらいとし、各小学校の第4学年または、第6学年の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵みを再発見する	継続	市内小学生の親子を対象に、「漁業」や「地産地消」、また地域の栄養委員による「食育」活動について、理解を深めていただく。さらには、瀬戸内海の恵みに対する再発見と感動を親子で共有することにより、水産業について理解促進の契機とする	底びき網などを体験し、瀬戸内の恵みの再発見することをねらいとし、親子漁業体験学習を実施する	継続実施	→	→	農林水産課	2,587	1,809	1,124	H29は50周年事業として実施
	科学講座	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、サイエンス塾等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにした	科学実験教室、科学工作教室、親子科学教室、科学チャレンジ教室等の各種科学講座の実施を通して、自然への理解を深めるとともに、環境保護という視点で自分たちの生活を見直すことができるようにする	継続実施	→	→	科学センター	250	210	230	
	少年自然の家主催事業	自然体験学習の実施 ・「由加わいわいキャンプ」(テント設営・そうめん流し) ・「夏休みこどもキャンプ」(丸太小屋生活・野外炊事) ・「家族で秋の思い出づくり」(ハイキング・芋ほり) ・「冬季こどもキャンプ」(丸太小屋生活・野外炊事) ・「早春のつどい」(よもぎ採り・餅つき) ・「さわやかデー(由加山の旅)」(そうめん流し・野外炊事)	継続	由加わいわいキャンプなど(テント設営、そうめん流し)を実施した 「由加わいわいキャンプ」(99人) 「夏休みこどもキャンプ」(51人) 「さわやかデー(由加山の旅)」(22人) 「家族で秋の思い出づくり」(65人) 「ウインターフェスティバル」(84人) 「冬季こどもキャンプ」(40人) 「自然の家大感謝祭」(150人) 「早春のつどい」(51人)	由加わいわいキャンプの実施や、不登校児等を対象とした市生涯学習課企画事業(さわやかデー)への共同参画等を予定	継続実施	→	→	少年自然の家	-	-	-	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(20)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標4: 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援

【基本方針】

市民やNPO等市民団体、事業者が、地域の生物多様性保全のため実施する環境美化活動など社会貢献活動や、高梁川流域の恵みを使った経済活動等を支援します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-4 社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
社会貢献活動や自然共生圏を意識した地域交流経済活動の支援	生物多様性に配慮した里地・里山整備	里地里山の持続的管理のための社会的枠組みや利活用方策等について検討し、生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	リーディングプロジェクト	環境保全型農業直接支援対策により生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援した	耕作放棄地対策や環境保全型農業直接支援対策などにより生物多様性に配慮した里地・里山整備を支援する	継続実施	→	→	農林水産課	6,930	3,056	7,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備
				先進事例等情報収集を行った	先進事例等情報収集を行う	継続実施 利活用方法等検討	→	→	環境政策課	-	-	-	
				地域交流イベント、経済活動を支援した	地域交流イベント、経済活動を支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	自然共生圏を意識した地域交流、経済活動の支援	高梁川流域など本市が関わる自然共生圏を対象とした地域交流イベント、経済活動を支援する		地域交流イベント、経済活動を支援した	地域交流イベント、経済活動を支援する	継続実施	→	→	環境政策課	-	-	-	
	河川等のゴミの清掃	生活雑排水路の春秋地区清掃	継続	清掃で出た土砂・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施した	清掃で出た土砂・草などを直営・業者委託で回収 市内全域で実施	継続実施	→	→	環境衛生課	34,075	30,203	34,708	
	児島湖流域清掃大作戦	継続	児島湖流域清掃大作戦を開催した	児島湖流域清掃大作戦を開催する	継続実施	→	→	環境政策課	548	519	578	平成30年11月4日(日)に開催予定	
	高梁川流域クリーン一斉行動の支援	継続	高梁川流域クリーン一斉行動を支援した 参加者:4,832人, 収集量:15.85t	高梁川流域クリーン一斉行動を支援する	継続実施	→	→	教委・生涯学習課	203	142	206	平成30年11月25日(日)に開催予定	
	自然保護団体への活動支援	各種自然保護団体への活動を支援する	継続	補助金、情報提供などにより市内の自然保護団体の活動を支援した	補助金、情報提供などにより市内の自然保護団体の活動を支援する	継続実施	→	→	環境政策課	180	180	180	倉敷の自然をまもる会

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(21)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標5:エコツーリズム等の推進

【基本方針】

農業農村地域や漁村地域、離島地域などにおいて地域資源を活かした体験型ツーリズムなどを推進します。

◆実施事業一覧表【基本目標4-5 エコツーリズム等の推進】

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考	
エコ ツー リズム 等 の 推 進	生物多様性エコツアーの 推進	本市の進める生態系ネットワークの 取り組みをはじめ、経済的に循環し ている市内外の優良な企業の取り組 みの現場等を巡るツアーの実施及び 市民団体等による実施を支援する	リーディング プロジェクト	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援した	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援す る	継続実施	→	→	環境政策課	584	515	540		
			終了	H26年度事業終了						市民活動推進課 環境政策課	-	-	-	【再掲】2-2「茶屋町 の干拓史跡・真如庵 庭園の自然観察公園 への改修とその活 用」事業
			リーディング プロジェクト	市民団体による提案がなく未 実施	市民団体より提案があった場 合積極的に支援する	継続実施	→	→	観光課	-	-	-		
	エコツーリズム支援	市民団体の開催するエコツーリ ズムを支援する	継続	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援した	高梁川流域における生物多様 性エコツアーの実施を支援す る	継続実施	→	→	環境政策課	584	515	540	【再掲】4-5「生物多 様性エコツアーの推 進」事業	
	親子漁業体験学習	漁業体験を通して、瀬戸内の恵み を再発見する	継続	市内小学生の親子を対象に、 「漁業」や「地産地消」、また地 域の栄養委員による「食育」活 動について、理解を深めていた だく。 さらには、瀬戸内海の恵みに対 する再発見と感動を親子で共 有することにより、水産業につ いて理解促進の契機とする	底びき網などを体験し、瀬戸内 の恵みの再発見することをね らいとし、親子漁業体験学習を 実施する	継続実施	→	→	農林水産課	2,587	1,809	1,124	【再掲】4-3 親子漁業 体験学習	
自然教室（中学校）	遊休農地を活用し、レクリエー ションやコミュニティの場となる よう市民農園の維持管理を行い利 用を促進する	継続	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることをね らいとし、各中学校の第1学年 の参加で実施した	自然の中で暮らし、自然に触 れ、自然について知ることをね らいとし、各中学校の第1学年 の参加で実施する	継続実施	→	→	教委・指導課	-	-	-	【再掲】4-3 自然教室 (中学校)		

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(22)

基本目標4 倉敷の生物多様性の保全と持続的な利用に向けて、行動できる人づくり、地域づくりを行う。

◆分野別目標6: 自然とのふれあいの促進

【基本方針】

市内の身近な自然を保全し、市民が気軽に参加できるような自然観察会や自然調査を開催するなど自然とふれあう場として活用します。自然とのふれあい活動の実施にあたっては、NP
O等との協働を積極的に進めるとともに、市民に情報を提供し参加を呼びかけます。

◆実施事業一覧表【基本目標4-6 自然とのふれあいの促進】

計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
環境保全事業、啓発活動の支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等に努める		必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行った	必要に応じ、自然保護団体の活動に対する広報支援や、環境保全意識啓発機会の提供等を行う	継続実施	→		環境政策課 環境学習センター 自然史博物館	-	-	-	
自然とのふれあい事業の開催	水辺教室、海辺教室、自然観察会、天体観察会、星空観察会などの自然とのふれあいを事業を開催する	リーディングプロジェクト	水辺教室を実施 37人参加 海辺教室を実施 28人参加	豪雨災害の影響で、水辺教室と海辺教室は中止	継続実施	→		環境学習センター 市民学習センター	81 82	75 59	106 82	【再掲】1-2 水辺教室 【再掲】1-2 海辺教室
			市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数58件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する	継続実施	→		自然史博物館	0	0	0	
	季節の天体や星座の観察を行った(12回・901人)		季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施	→		科学センター	33	0	33		
	探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行った		探鳥コース、種松山野草園の維持管理を行うとともに必要に応じ自然散策コースの検討を行う	継続実施	→		環境政策課	424	424	484	【再掲】2-2 種松山野草園管理	
	野鳥観察に関する入門講座を2回実施した		野鳥観察に関する入門講座を季節に応じて実施する	継続実施	→		環境学習センター	-	-	-	夏・冬の2回実施	
	要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援した		要望に応じて、耕作放棄地の再生を支援する	継続実施	→		農林水産課	2,930	0	3,000	【再掲】2-4 生態系に里地里山に配慮した里地里山の整備	
自然とのふれあいの場の活用、維持管理等	ビオトープ、探鳥コース、遊休農地の活用、種松山野草園の管理及び自然散策コースの検討などを行う		ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかけた	ビオトープの設定、活用等を学校に呼びかける	継続実施	→		教委・指導課	-	-	-	
自然保護団体の里地、里山保全活動への支援	里地、里山の保全に向けた自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援した	自然保護団体の活動への市民参加、協働について広報を行うなど支援する	継続実施	→		環境政策課	-	-	-	
ビオトープの活用促進	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けした	NPOなどと協力しながら、小学校、公共施設等へのビオトープの活用を手助けする	継続実施	→		環境政策課	0	0	0	
啓発機会の提供	小学校をはじめとして、市民の水辺の環境保全意識啓発に努める	継続	自然保護団体等と協力して、啓発活動を行った。淡水魚に関する小・中学生対象の出前講座は申し込みなし	淡水魚を中心とした水環境に関する小・中学生対象の出前講座を実施する	継続実施	→		環境学習センター	33	0	0	【再掲】2-5 スイゲンゼニタナゴ個体群の保全
種松山野草園管理	種松山野草園管理	継続	種松山野草園の維持管理を行った	種松山野草園の維持管理を行う	継続実施	→		環境政策課	424	424	484	【再掲】2-2 種松山野草園管理
探鳥コース、野鳥観察地の維持、活用	探鳥コースや野鳥観察地の観察しやすい環境づくりと利活用	継続	市民団体と協力し、野鳥観察会を2回実施した	市民団体等と協力し探鳥会などを開催し、活用を図る	継続実施	→		環境学習センター	0	0	0	【再掲】同シートに掲載済
	探鳥コースや野鳥観察地の観察しやすい環境づくりと維持	継続	探鳥コースの点検を行った	探鳥コースの点検を行い、必要に応じて対応する。探鳥コースの利用促進を図る	継続実施	→		環境政策課	44	40	65	

自然とのふれあいの促進

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(23)

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	市民農園事業	遊休農地を活用し、レクリエーションやコミュニティの場となるよう市民農園の維持管理を行い利用を促進する	継続	市民農園維持管理を実施した	市民農園維持管理を実施する	継続実施	→	→	農林水産課	6,424	6,280	4,548	
	遊休農地の活用	幼・小・中学校において遊休農地を活用し体験学習を推進する	継続	小学校の第4学年又は第6学年と中学校の第1学年において遊休農地を活用し体験学習を実施した	幼・小・中学校において遊休農地を活用し体験学習を推進する	継続実施	→	→	教委・指導課	0	0	0	
	水辺教室	高梁川河原で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・水辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月30日(日) 37人参加 ・高梁川河川敷	水辺教室は豪雨災害の影響で中止(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月28日(土) ・高梁川河川敷	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	81	75	106	【再掲】1-2 水辺教室
	海辺教室	磯(海辺)で水生生物調査などの観察を行うと共に、結果について既存資料を含め情報提供を行う	継続	・海辺教室を実施(環境学習センターと市民学習センターが協働) 7月2日(日) 28人参加 ・児島通生海岸	・海辺教室は豪雨災害の影響で中止(環境学習センターと市民学習センターが協働) ・7月22日(日) ・児島通生海岸	継続実施	→	→	環境学習センター 市民学習センター	82	59	82	【再掲】1-2 海辺教室
	自然史博物館の催し案内	市内外の学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付する	継続	月1回、記者クラブ、学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付した 「広報くらしき」、「パワフルキッズ」、「メールマガジン」で行事案内を行った 年1回、市外近隣地域の小・中学校に利用案内を送付した	記者クラブ、学校教育施設等へ博物館の催し案内を送付する 「広報くらしき」、「パワフルキッズ」、「メールマガジン」で行事案内を行う	継続実施	→	→	自然史博物館	—	—	—	
	環境保全に関する事業の情報提供	環境月間行事や環境保全講演会の開催など、広報を活用し情報を提供する	継続	・環境月間行事として、環境フェスティバルを開催した ・6月3日 環境交流スクエア ・来場者 4,600人	環境月間行事として6月2日(土)に環境フェスティバルを開催予定 ホームページ・広報紙や報道機関へ情報提供し、市民へ参加を呼びかける	継続実施	→	→	環境学習センター	4,013	3,491	3,655	
	「こどもエコクラブ」活動支援	広報、事務局の支援等を通じ、クラブの活動を支援する	継続	広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行った	HP、メルマガ等による広報、会員登録受付、環境に関する情報の提供等を行う 小学校を通じて放課後子ども教室への情報の提供を行う	継続実施	→	→	環境学習センター	—	—	—	
	自然観察会、講座等の開催	自然保護団体と協力し市民参加の観察会や講座を開催する	継続	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催した(総数58件) 「友の会」による自然観察会等の開催を援助した(友の会主催観察会・講座総数12件)	市民が幅広く参加できる自然観察会、講座等を開催する 「友の会」による自然観察会等の開催を援助する	継続実施	→	→	自然史博物館	442	421	410	予算・実績は教育普及事業
			継続	自然保護団体の観察会等の開催を援助した	自然保護団体の観察会等の開催を援助する	継続実施	→	→	環境政策課 環境学習センター	—	—	—	

倉敷市生物多様性地域戦略 実施事業計画表(24)

	計画、事業の名称	計画、事業の概要 (主な内容)	新規・継続	H29年度実績	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	主な事業 関係課	H29予算 (千円)	H29実績 (千円)	H30予算 (千円)	備考
自然とのふれあいの促進	天体観望会	季節の天体や星座の観察を行う	継続	季節の天体や星座の観察を行った(12回・901人)	季節の天体や星座の観察を行う天体観望会を定期的に行う	継続実施	→		科学センター	33	0	33	
	全国の各団体により、決められた領域を観察し、確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観望会の開催	確認できる星の数の変化を調査する市民参加の星空観望会(アストロクラブ)	継続	環境省の全国星空継続観望会の休止にともない、休止した	環境省の全国星空継続観望会の休止にともない、当面の間休止する				科学センター	—	—	—	
	自然散策路の検討	自然散策コースなどの検討	継続	倉敷市自然保護監視員から自然保護監視員便り等により情報収集を行った	倉敷市自然保護監視員等からの情報収集を行い、自然散策コースなどの検討を行う	継続実施	→		環境政策課	24	24	24	
	「倉敷の生き物を探そう！」事業	生物多様性地域戦略策定のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集をする	新規	生物多様性地域戦略推進のための啓発事業として、市民から市内の生き物の情報収集を行った(51件の投稿があった)	富士通株式会社の支援を受け、携帯フォトシステム・クラウドサービスを利用して市内の生き物調査を実施する(サービスはH30年度終了予定)				環境政策課	—	—	—	【再掲】1-1 市民参画による自然調査の実施、携帯クラウドシステムの活用を推進する